

令和5年度 第2回深谷市子ども・子育て会議  
議事要旨

日 時：令和6年1月18日（木）午前10時00分～午前11時30分

場 所：深谷市役所 会議室2-4

出席者：牧野 祥子委員、鈴木 浩史委員、那須 信也委員、押野見 孝道委員、穠山 明美委員、  
神庭 ひろ子委員、榊田 摩琴委員、奥富 庸一委員、戸野倉 和美委員（9名）

欠席者：柴崎 知亜紀委員、橋本 亜希委員、金子 京子委員、山崎 幸子委員、斉藤 実委員、  
岡田 真彦委員（6名）

<配布資料>

- ・令和5年度 第2回深谷市子ども・子育て会議 次第
- ・資料1 第3期深谷市子ども・子育て支援事業計画の策定について
- ・資料2-1 第3期子ども・子育て支援事業計画策定に係る市民アンケート調査の実施について
- ・資料2-2 「第3期深谷市子ども・子育て支援事業計画」策定のためのアンケート調査票 就学前児童保護者用（案）
- ・資料2-3 「第3期深谷市子ども・子育て支援事業計画」策定のためのアンケート調査票 就学児童保護者用（案）
- ・資料2-4 深谷市子どもの生活に関する実態調査 調査票 保護者用（案）
- ・資料2-5 深谷市子どもの生活に関する実態調査 調査票 小学5年生用（案）
- ・資料2-6 深谷市子どもの生活に関する実態調査 調査票 中学2年生用（案）
- ・資料3 川本保育園の利用定員変更について
- ・資料4 深谷市幼稚園・こども館複合施設基本設計について
- ・参考資料 こども大綱【説明資料】

－ 1. 開会－

司会（大野課長補佐）

－ 2. 会長挨拶－

奥富会長より挨拶

－ 3. 議事－

規定により奥富会長が議長となり議事を進行する

(1) 協議事項

①第3期深谷市子ども・子育て支援事業計画の策定について

（事務局：資料1について説明）

質問・意見なし、原案どおり承認

## ②第3期深谷市子ども・子育て支援事業計画にかかる市民アンケートの実施について

(事務局：資料2-1、2-2、2-3、2-4、2-5、2-6について説明)

委員：2点質問がある。1点目は、子どもの生活に関する実態調査の小学5年生、中学2年生の調査について、問22のような設問があるが、回収方法は、学校で回答し、学校で回収するのか、それとも保護者と一緒に回収するのか。子どもたちに配布されているタブレットは活用できないか。また、この設問の中に、性的虐待についての項目が省かれているように感じるが、それについては考えなかったか。2点目は、小学生や中学生にとって学校は長時間過ごす場所であり、生活の一部と考えられるが、学校でのパワハラ、スクールハラスメントについて、別で調査がされているのか。

事務局：調査票の配布・回収方法について、調査票は学校で配布する。子どもは回答後、調査票を小さな封筒に入れ、保護者用の調査票と一緒に大きな封筒に入れて学校に提出する形で実施する。タブレットの活用については、今回、保護者の回答と子どもの回答をクロス集計するが、タブレットを使用するとクロス集計が難しくなるため、紙で調査することとした。スクールハラスメントについて、今回は国の調査を基に調査票を設計しており、スクールハラスメントに重点を置いた選択肢は設けていない。

委員：大事な視点であり、次の調査時には検討いただければと思う。

委員：そういう家庭は、袋を開けてまでチェックをする可能性もある。その辺りまで配慮が必要である。違う回答方法について一考いただけないか。

事務局：子どものプライバシーを守るという点で、どの方法がよいのか事務局でも検討したが、これなら100%守られるという方法が見当たらなかった。ご指摘いただいた部分は懸念されるが、この方法であれば一般的には親と子のそれぞれの回答が見られることがない、という前提で実施する。

委員：子どもに配布する際に、自分で回答すること、回答内容を誰にも見せずに自分で封をし、そのまま提出する、という一言を入れてもらえれば少し違うのでは。もし自宅で封を開けられ回収できない状況があれば、そこに注目できる可能性があるのではないか。

事務局：子どもに対して、親に見せないで、ということは何らかの形で伝えたい。やり方については検討する。

委員：子どもがタブレットで親が紙の調査でも、親の回答はデータ入力するため、番号をつければ紐づけできるのではないか。

事務局：IDを付与すれば可能であるが、そこまでの準備が難しかった。

委員：性的虐待の設問に対する回答はどうか。設問を検討するときその部分は検討したのか。

事務局：問22の選択肢の一つの中に、そういった文言を追加することは可能である。検討段階では考えが至らなかった。あえて外したわけではない。

委員：子どもが生活圏の中でどのようなことで困っているのか知りたいと思った。

委員：子どもの生活に関する実態調査の小5、中2調査票の問22について、「両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある」という選択肢は、子どもには答えづらい部分もあるのではないか。性的虐待やヤングケアラーなどの内容がどこかに含まれていないかどうか気になった。

また、小学5年生と中学2年生で調査票の文言がほぼ同じであるが、それぞれに合った言い方のほうが答えやすいこともあるのではないか。

事務局：小学5年生向けに少しわかりやすい表現を心がけたい。

委員：子ども・子育て支援に関するアンケートの問10において、特に悩みや不安、負担を感じていない人もいるかもしれないため、「特にない」という選択肢があってもよいのではないか。

事務局：選択肢として追加したい。

委員：前回の調査では、子ども向けの調査はなかったのか。

事務局：前回調査時は子ども向けの調査は実施していない。今回、子どもの貧困対策を含むため、深谷市として初めて実施するものである。

委員：子どもまんなか社会の実現に向けて子ども向けに調査することは大事なことであり評価できる。

委員：外国人の方など、日本語での会話はできるが文字は読めないという方向けに英語の文章にするということはあるか。

事務局：将来的にはそのような対応ができればよいと考えるが、今回は日本語のみの対応となる。

事務局：すべてを多言語化するの難しいが、問い合わせ先に英語を付け加えることは可能である。

事務局：修正点の確認をしたい。すべての調査票の問い合わせ先に英語表記を加える、資料2-2、2-3の問3の選択肢に「特にない」を加える、資料2-5、2-9の問22の二つ目の選択肢の中に性的虐待につながるような文言を追加する、ということによるしいか。

会長：以上の修正をしたうえで承認いただけるか。(拍手) 市民アンケートの実施について承認された。

## (2) 報告事項

### ①保育園の利用定員の変更について

(事務局：資料3について説明)

質問なし

### ②深谷市幼稚園・こども館複合施設基本設計について

(事務局：資料4について説明)

委員：最近、男子トイレが個室のみになってきているが、この施設の男子トイレはどのようになっているか。

事務局：男の子用の個室と男の子が立ってするための小便器を設ける計画となっている。

委員：将来的に子どもの数が減少していくことも考慮されて設計されていると思うが、さらに人数が減ってきたときに、幼稚園部分をこども館として活用できるような設計になっているか。

事務局：幼稚園・こども館複合施設の計画にあたっては、まず幼稚園の再編が計画され、それにこども館の複合化が検討された。施設機能については、複合施設建設計画の基本方針に基づき検討してきたところであり、幼稚園機能、こども館機能を相互に活用できるような一体的な管理を基本方針に掲げている。少子化に加え、担い手不足も懸念されることから、時代に合わせた形で

柔軟に対応していくことを想定している。

委員：こども大綱が出た中で、様々な問題を一体的に考えていくためにも、教育研究所、保健センター、障害課を合わせた形の窓口がこの中にあったらよかった。0歳から18歳の子どもが遊びに行ったとき、不安などを相談できるワンストップの窓口ができれば、子育てしやすい深谷市としての役割を担うことができる施設になったのではないか。

事務局：物理的な部屋として集約した窓口を設置することはないが、相談しやすい環境とするため、児童厚生員を配属する予定である。子どもたちも一見で相談することはなく、常連化していく中で次第に児童厚生員と仲良くなるなど、相談しやすくなる関係性ができればよい。

委員：幼稚園のスペースに調理室ができる。現在、常盤町の幼稚園でも調理をしているが、一括して調理するのか、両方で調理するのか。

事務局：調理場については、こちらで整備し、配送していくような形で考えている。

委員：私の子どもが通っている幼稚園では、年少は常盤町から来ている給食を食べ、年中、年長は小学校から来ている給食を食べている。これが全学年同じ給食になるということか。

事務局：これまでは供給量の問題で一部小学校から給食を供給していたが、新園および常盤町にある幼稚園で賄えるようになるため、開設後にはこの2園から供給する予定である。

委員：幼稚園の統廃合に伴い、子育てサロンもなくなってしまった。こども館に相談するにあたり、距離的に遠かったり車がない方もいる。何か相談に行きやすい方法などはないか。

事務局：就学前のお子さんについては、子育て支援センターや保健センターにて相談していただけたらと思う。

委員：中央部分に集約されることによって便利なことがある反面、末端から考えると不便な点もある。

#### － 4. その他－

事務局：次回の会議は、第3期子ども・子育て支援事業計画に関する市民アンケート調査の結果報告について、今年5月ごろの開催を予定している。

#### － 5. 閉会－

副会長：以上をもって、令和5年度第2回深谷市子ども・子育て会議を終了する。

(以上、終了)